



予防接種の話⑤

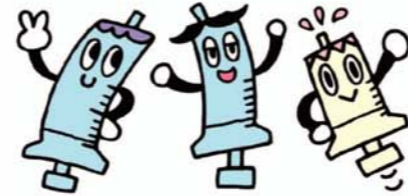
BCG(結核の予防)

結核菌の飛沫核感染(空気感染)によって感染します。感染者のすべてが発病するわけではなく、感染してから、長期間(数年~数十年)潜んでいた結核菌が、免疫力が衰えた時に活性化して発病することもあります。牛型結核菌を弱めた生ワクチンで、9本の針がついたスタンプを上腕の外側に押しつける、管針法という方式で接種します。

■接種時期

生後6か月未満に1回。
接種したところは、日陰で乾燥させてから衣服を着せます。
1時間以上経過すれば、菌の生着に問題ないので入浴しても大丈夫。化膿してうみが出たりした場合は医師に診てもらって下さい

(薬剤部 常國)



検査室 インフォメーション inspecting room information

オーダーリングが始まってから、検査室も進化を遂げてきました。院内検査の項目が増えた事、新機器が導入された事、そして検査時間の短縮及び正確にデータを報告できる様に、検査技師一同努力している日々です。

さて、血液検査と一口で言いますが、様々な検査項目があるのはご存知かと思いますが、最近当院の検査室で測定できる様になった項目をいくつかご紹介したいと思います。

①プロカルシトニン(PCT)

敗血症(細菌性)の鑑別診断及び重症度判定に用いられます。敗血症とは全身性炎症反応症候群(SIRS)症状を示す感染症です。症状例としては、体温・脈拍数・呼吸数・白血球数のいずれかの上昇、炎症マーカー(CRP・血沈)の異常、胸部X線・CT画像の異常等が挙げられます。PCTはCRPに比べ、より早期に上昇し、敗血症(細菌性)に対する感度や特異性は他マーカーに比べ優れているので、早期治療に有用とされています。

②NT-proBNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント)

食生活習慣の移り変わりや高齢化社会の到来により、心不全患者の増加が問題となってきています。特に高齢者における心不全の発症率は65歳以上の高齢者1000人当たり10人に近づいているとの報告があります。従来はBNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド)検査が広く行われてきましたが、近年NT-proBNPが注目されています。血中NT-proBNP測定による心不全診断は、BNPと同様の病態把握を可能とし、更に血中での高い安定性や血清での測定が可能な点から、臨床現場で注目を集めている血液マーカーです。

③e-GFR

糸球体濾過量のことで、60以下の人は腎機能の低下が疑われます。日本腎臓学会の調査によると、現在の日本人の慢性腎臓病(CKD)患者数は、約1330万人と推定されると報告されています。CKDを早期発見、早期治療することにより、末期腎不全への進行を抑制することができます。早期発見には尿蛋白(微量アルブミンを含む)・尿潜血及び糸球体濾過量(GFR)の測定が有用です。

他にも新しい項目があるので、また次回ご紹介したいと思います★

生活習慣病は親の責任?

生活習慣がいろいろな疾患を引き起こすのが自明の事となっている時代。

欧米型の食事が氾濫して肥満や糖尿病や脂質異常症などを引き起こしている。

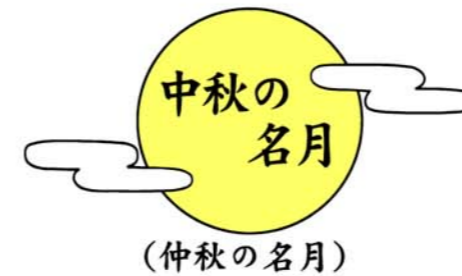
確かにおいしそう匂い、おいしい味、見た目に食欲をそそる食材は食事をとるのに必要なことである。おいしい匂いがしない、見た目においしそうでない、形がグロテスクだといって最初から手をつけないことがある。

万人にとっておいしい食べ物でも栄養的に偏り、身体に悪い場合がある。まずそこからといって身体に悪いとは限らず、栄養的に優れている食材もある。

生まれて初めて母乳をのみ、離乳食を与えられ人參やほうれん草など子供が拒否したらかわいそうだからと言って与えない親がなんと多いことか。栄養的にバランスが良いなら、嫌がっても食べさせその味に慣れさせることが大切なのである。

飽食の時代ファーストフードばかり子供に与え、栄養バランスの悪い常態にすることが問題なのである。親の生活習慣が子供の生活習慣を作っていることを理解すべきである。弁当屋の弁当を与えればカロリーの高い、塩分の高い食事になり、子供の肥満や脂質異常を助長しているのである。食品会社は塩分の多いポテトチップなど小さな子供が食べると想定しても注意をしない(小学校にあがるまで子供の腎臓は大人のように完成しておらず塩分の必要量は5g/日以下である)ため、血圧が高くなったり腎臓が悪くなる子供が増えているのである。

いろいろの食材を考え、バランスの良い食事を取りたいですね。



毎年12ないしは13回の満月があるのに、中秋の名月が特別扱われることが多いのはなぜでしょうか。

中秋の名月は、旧暦の「八月十五日」のことを指しています。「八月十五日」と書いて「なかあき」と読む名字の方がいらっしゃるようですが、「なかあき」=「中秋」のことで昔から八月十五日の月を「中秋の名月」と呼んできました。

一年には「春夏秋冬」の四季があります。旧暦では三ヶ月毎に季節が変わり、「七・八・九月」は秋となります。このことから、「八月」は秋の真ん中で「中秋」あるいは「仲秋」と言われています。

また、旧暦は太陰暦の一種で、日付はそのときの月齢に対応しており、月の半ばである15日はだいたいにおいて満月になります。そのことから、「十五夜の月」=「満月」と考えられるようになりました。

古くから日本には八月十五日に秋の澄んだ空に昇る満月を鑑賞する風習があり、このときの月を「中秋の名月」と呼ぶようになりました。

最後に、今年の中秋の名月の日は、9月22日となっています。(満月は9月23日ですが。)今年は、綺麗な中秋の名月が見られるのでしょうか?



新聞委員